

山之口中学校だより

平成31年 2月25日
校長 深江 祐史

早いもので、平成最後の年ももう二ヶ月が過ぎようとしています。今学期はじめにインフルエンザが流行し、出席停止となる生徒が急増するなど非常に心配しましたが、学級閉鎖等の措置をすることなく何とか乗り切ることができました。現在は概ね落ち着いているようですが、油断は禁物です。特に3年生は県立高校入試が残っています。手洗い・うがい・マスク着用など自分でできる予防はしっかり行って、当日ベストな状態で臨めるようにしましょう。

1 立志式がありました。

2月7日（木）午後から立志式が行われました。多くの来賓の方々や保護者の出席もあり、まず前半は、式典が行われました。校長の話の後、2年1組を代表して 深川 拓豊 くん、2組を代表して 圓目 大祐 くんが「立志の誓い」を述べました。二人とも落ち着いていて、「自分の得意なことを生かして、一生懸命取り組みたい」「人間としてあるべき心を持っている人こそが真の大人ではないか」それぞれの思いをしっかりと発表しました。

その後、クラスごとに全員がステージに上がり、自分が選んだ言葉を書いた色紙を持って、その言葉を選んだ理由を自分の言葉でしっかり宣言しました。本当にそれぞれの個性が出ていて、一人一人がとても頼もしく思えました。

その後は全体合唱でした。文化発表会の合唱コンクールの時感じましたが、2年生の合唱のレベルは、かなり高いとあらためて感じました。約1時間の式典でしたが、ある来賓の方から「時間が短く感じた」との感想を戴きました。それほど厳粛で濃密な時間だったと思います。

後半は、1、3年生も加わって、都城聖ドミニコ学園高等学校教諭である ケネス・リスマン 氏による記念講演「Life is interesting」が行われました。講演ははじめから笑いに包まれ、日本と外国の文化の違いや、心が通じるまで、ゆっくりと相手を理解しようとする努力が大切であることなど、先生の体験談を交え、貴重なお話を聴くことができました。なお、講演終了後、先生と校長室で話をした際、本校生徒の話を聴く態度、素直さと明るさをとても褒めていただいたことを付け加えておきます。

2 職業講話（1年生対象）がありました。

2月14日（木）3・4校時に1年生を対象に職業講話が行われました。講師は、都城市在住でプロのチンドン屋である 宮崎花ふぶき一座の宮田若菜さん。（名刺には“チンドン”司会”MC”講演“セミナー”イベント企画”と書かれてあります。多才な女性です！）夢をもつことの大切さについて、ご自身が経験されたことをもとに、明るく、楽しく、アグレッシブにパフォーマンス&映像を交えながら話をしてくださいました。

はじめて見るナマのチンドンに最初は戸惑っていた1年生も徐々に宮田さんに慣れてきたのか、後半は自然体で、笑顔で、そして真剣な顔で話を聞いていました。夢を本気で追いかける大人に触れ、生徒は大いに刺激を受けたようです。あっという間の2時間でした。宮田さんお忙しい中、本当にありがとうございました。

※ 講話が終わった後、宮田さんは話の中で生徒と約束したということで、校長室で1時間以上かけて、ご自分の手で55個（1年生全生徒分）の風船のブードルを作られました。これに「志」の文字（宮田さんの手書き）が入ったハガキを添えて生徒一人一人にプレゼント、いたれり、つくせりの職業講話でした。心より感謝申し上げます。なお、宮田さんから「今日の講演は普段よりも本音で話せて楽しかった」とのうれしいお言葉を戴きました。

3 生徒会が奨励賞を受賞しました

2月22日（金）都城市教育委員会奨励賞表彰式があり、本校の生徒会が《善行部門（団体）》で表彰されました。当日は、元生徒会長の 中村竜之進 くんが代表として出席、教育委員会より賞状を受け取りました。本校の生徒全員を褒めてもらったような気がして誇らしい気持ちになりました。

4 卒業式に向けて

右は、2月中旬のある寒い朝の生徒玄関前の風景です。生徒会が中心となって、プランターの花の手入れをしていました。卒業式に満開になるよう、管理しているところです。この花は、昨年12月、下富吉のボランティアグループの方々に指導していただき、その後生徒が大切に育てているものです。地域の方々と山中生が“3年生の卒業式に花を添えたい”との思いでつながっている取組だと感じました。“イベントより日常”本年度成功した多くの行事の影には、誰かのこういう地道な取組があったことを忘れてはいけませんね。



5 教育相談が行われています

現在、学校では教育相談が行われていますが、中学生に限らず大人であっても社会（学校）を生きる上で悩みは尽きないもの。そんな中、皆さんに紹介したい文章がありました。参考にできれば幸いです。

ある若い女優の言葉で忘れられないものがある。それは「がんばる自分は好きになれる」という言葉だ。習慣を達成することで得られる報酬はいろいろあるが、最大の報酬は自己肯定感、自分を好きになれることではないかと思う。

1日の習慣を全て達成できた後はテンションが高い。今日やるべきことをやった、という実感があると、どうやら僕はご機嫌になれるようだ。

うまくいってご機嫌だと、他人のがんばりも応援できる。うまくいっていないとき、他人を槍玉に挙げたくなる。やりたいことに夢中になっているときは、他の人が何しようが大して気にならない。それどころじゃない、という感じになってくる。

しかし、やりたいことができず、自分のことをダメだと思っている人は、他人の努力の結果を大したことがないと言いたくなる。自分が努力できていなければ、他人の努力を打ち消したくなる。これは自然な心の防衛反応だと思う。

こうして生産性のない批判が始まる理由は、自己否定からであることが多い。涙目では現実が歪んで見えるのだ。人に優しくできる程度には、自分のことをご機嫌に保ちたいものだ。

「ぼくたちは習慣で、できている」

佐々木 典士（ささき ふみお）著 株式会社 ワニブックス

6 3月の行事予定

3月 5日（火）県立高等学校一般入学試験	3月15日（金）卒業式予行
3月 6日（水）県立高等学校一般入学試験	3月16日（土）第72回卒業式
3月 5日（火）職場訪問（1年）	3月19日（火）県立高等学校合格発表
3月 8日（金）送別遠足（全学年）	3月25日（月）新入生制服販売
※弁当の日	※小学校卒業式
3月11日（月）振替休業日	3月26日（火）修了の日
※16日（土）の振り替え	3月29日（金）離任式

いよいよ本年度も残り一ヶ月となりました。この一年で生徒はずいぶん成長し、たくましさも感じられるようになってきました。終わりよければ・・・ではありませんが、一年間の締めくくりをしっかりといきましょう。まだ、しばらくは寒かったり、暖かかったりが続きそうですが、保護者の皆さま、地域の皆さま、お体をご自愛いただくとともに本地区の宝である山之口中生をどうぞ最後まで温かく見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

※ 各活動の詳細は、山之口中学校HPにも掲載されておりますので、是非そちらもご覧ください。